人間植物関係学詳論（２単位）

担当者氏名　　山口裕文・木村正典

◆学習・教育目標

人間の身近な暮らしのなかにある観賞植物、景観植物、香源植物やナルコティクス植物、儀礼植物などの癒し植物を人間の福祉や健康にどのように活用出来るかの技法を検討する。具体的には生活活用に使用する植物素材と栽培資材の概要を述べた後、公園や学校教育、住居や儀式等における植物の福祉活用の詳細に触れつつ、活用上の技法を紹介する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

人間・植物関係学　　観賞植物学　　都市園芸学　　造園学
応用植物生態学

◆授業の進行等について

	テーマ	内　容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	植物素材	果樹・野菜・観賞植物・ハーブの特性と機能	本授業では、住居や都市など人間生活の場における植物の生活活用の技術的側面を学ぶ。関連する項目についてインターネットや関連論文を概観して、授業時に意見を述べられるように準備しておくこと。
2	栽培管理資材	有機栽培ための資材と方法	
3	家庭菜園･ガーデニング	個人の楽しみのための園芸の役割と方法	
4	コミュニティガーデン・市民農園	豊かな社会づくりのための園芸の役割と手法	
5	建物緑化	環境改善のための屋上･壁面･屋内緑化の役割と手法	
6	水生植物の活用	水槽栽培、水草	
7	古典園芸の技法	盆栽、盆景、蛸作り	
8	多肉植物の活用法	多肉植物、サボテン	
9	ふつうの日の花の活用法	切り花、供花、仏花	
10	ハレの日の花	儀式、儀礼、ブライダル	
11	植物の香りの活用	香りの仕掛けとアロマテラピー　消臭　汚染防止	
12	贈答植物	植物贈呈　花籠、包装	
13	公園・都市緑化	公共空間での植物によるアメニティ向上の手法	
14	教育と園芸	教育の場における園芸の役割と手法	
15	植物器官による装飾	首飾り、数珠、葉脈しおり、押し花	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

教科書は特に指定しない。テーマに沿った技術書を各自で選び読んでおくこと。授業ごとに講義資料またはパワーポイントで説明し、必要な資料は配布する

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

バイオセラピー学入門（講談社）、花と木の文化史（岩波新書）、このほか、その都度紹介する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

授業毎に提出するレポートで評価する（100 点）

◆その他受講上の注意事項